

発言No.

16

受付No.

12

令和3年6月10日

9時37分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 14 番

氏名 岡本 正友

答弁を求める者

(口をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員長

発言項目及び要旨

1. 人がつながる協働のまちづくりについて

(1) まちづくりの視点から見た公共及び民間施設の活用・複合化について

① 本年10月の市長の改選時期にあたり、市長の次期の市政運営について問う。

平成27年に策定した「浜田市総合振興計画」は、平成28年度から令和7年度の10年間であり、期間は市長の任期に合わせ4年としている。任期の区切りにあたり、まちづくりの展開や人口減少・少子化の対応の戦略等の立案は、地方の生き残りをかけた地方創生に資する重要な施策であると考え、第2次浜田市総合振興計画の後期基本計画策定に向けての決意を問う。

② 人がつながるまちづくりの環境整備について問う。

「浜田市協働のまちづくり推進条例」が、本年4月から施行され、各地区の地域協議会が開催され、まちづくりを進めている。まちづくりが特に遅れているとされている浜田地区南の中心市街地の自治会では、活動を推進させるためには自治住民が気軽に集まることができる集会所を必要とする意見や、災害時の安全な避難施設を切望する意見もある。協働の第一歩は集うことであると思うが、浜田地区南は他に比較しても、集う場所が非常に少ないと感じている。官民の施設を活用する集会所の現状と災害時避難施設の実態について認識を問う。

(2) 雲雀丘小学校の統合再編と新たなまちづくりについて

① 浜田市立小中学校統合再編にあたっての具体的方策を問う。

小学校4校と中学校2校の具体的な学校統合再編の方針が示された。具体的な方策とはどのようなものか。なぜ中心市街地に近い雲雀丘小学校が統合再編しなければならないのか問う。

② 既存の校舎を活用する新たなまちづくりセンターについて問う。

対象地は、以前から学校を核とした地域ぐるみの活動が行われている。

求心的な学校がなくなることによって、地域とのつながりが閉ざされる状況は、この地域全体の自治や地域活動の衰退につながると考える。先般の説明会における意見交換会では、既存の校舎を活用した災害時の避難施設の配置や自主防災を主体とした新たなまちづくりセンターの移転新築について、地域住民から強い要望があった。今後の対応策について尋ねる。

(3) 浜田市体育協会の体制について

① 浜田市スポーツ協会への体制改革について問う。

県内 8 市のうち浜田市だけが、行政直営方式であるが、名称変更と合わせ、運営方式や職員体制について、他市における体育協会の体制を問う。

② 浜田市体育協会を外部団体へ移管させることで生まれるメリットについて問う。